

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		地区公民館活動推進モデル事業					
事業の概要		<p>人口減少、高齢化、若年層の流出、核家族化が進む本町では、地域活力の形成維持のための支援が必要となっており、地域課題や現代的な課題に取り組む公民館活動を推進することにより、公民館活動の活性化を図るものである。公民館活動については、旧町単位で大きく温度差があるため、全町的な取り組みとして拡大、推進していくため、モデル地区を設定し事業を委託するものである。</p> <p>モデル地区 後野区</p>					
	事業期間	平成20年度					
	総事業費	250	本年度事業費	250	交付金交付額	111	
事業評価	事業の必要性	人口減少、高齢化、若年層の流出、核家族化が進む本町では、地域活力の形成維持のための支援が必要となっているため、公民館活動を推進し、公民館活動の活性化を図る。					
	事業の有効性	公民館活動については、旧町単位で大きく温度差があるため、当活動を全町的な取り組みとして拡大、推進していくため、今回、モデル地区を設定し事業を委託するものである。					
	事業の効率性	本事業により、各公民館活動の活動内容の格差の解消が図られ、全地域での公民館活動の活性化に資する。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果	地域コミュニティの拠点施設として地区公民館の機能が強化されるとともに、地域間、世代間の交流が図られ、一層のコミュニティの活発化に資する。				
		3 リーディング・モデル成果	地域住民の自主的な学習要求や課題を住民自らが講座として企画・運営する公民館活動を推進することで地域活力の形成維持に資する。				
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果		活発な運営がなされていない地域にモデル地区を設定することで、公民館活動を全町的な取り組みとして拡大、推進していくための第1段階となるものである。本事業により、自主的に公民館活動に取り組む地域コミュニティを実現させる。					
	6 その他の成果						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。